

# 令和5年度 学校評価年度末アンケート(保護者・生徒・教員対象)集計結果

◎評価基準

4 よくできている	3 できている	2 あまりできていない	1 できていない
-----------	---------	-------------	----------

区分	No.	アンケート項目	教職員 項目別 平均値	生徒 項目別 平均値	保護者 項目別 平均値	
確かな学力(学力の三要素)	1	生徒が主体的に取り組む総合的な探究の時間を実践している。	3.0	3.4	3.1	
	2	授業改善を積み重ねている。	3.1	3.2	2.9	
	3	学力が身に付く評価の在り方を研究・実践している。	2.9	3.2	3.0	
	4	各教科・科目、総合的な探究の時間、学校行事等教育活動全体を効果的に連携させている。	2.8	3.3	3.1	
	5	I C Tの効果的活用の研究を行っている。	2.9	3.2	2.9	
	6	探究活動が深まる学習環境を整備している。(図書、I C T等)	3.0	3.2	3.0	
地域多様な社会を尊重し国際社会に参画する態度	7	国際交流と異文化理解を深める、多面的な学習活動を実践している。	3.5	3.5	3.3	
	8	学校を本質的なSDG s達成の実践の場としている。	3.2	3.4	3.2	
	9	地域社会を学びの場とし、多様な人々や多様な考え方に会う学習活動を行っている。	3.5	3.4	3.2	
自律性(人間性)	10	成功失敗に関わらず自分で考え挑戦する学習活動を行っている。	2.8	3.3	3.0	
	11	主体性や協働性が育つ生徒会活動や部活動を工夫している。	3.0	3.3	3.0	
	12	自他の健康と安全を守る力の育成を全教育活動で行っている。	2.9	3.3	3.0	
幅広い進路希望が実現する	13	自らのよさや適性を発見できるよう、幅広い学習と多様な経験ができるよう教育課程の改善を重ねている。	3.0	3.3	3.1	
	14	進路実現に資する行事の開催と全職員によるていねいな指導と支援を行っている。	3.3	3.3	3.1	
	15	国際的な視野を持ち社会に貢献できる自立した人間を育成する、系統的なキャリア教育体制を整備している。	3.1	3.3	3.0	
信頼される開かれた学校	16	生徒・保護者・地域等への情報発信のため、ホームページを充実している。	2.9	3.2	2.9	
	17	地域社会と協働しその発展と生徒の成長が両立する学習活動を充実させている。	3.1	3.3	3.0	
	18	保護者との連携や共通理解を深めるため、P T A活動や各学年次保護者会、三者面談等を充実させている。	2.9	3.2	2.9	
	19	教育活動を的確に評価し、改善を切れ目なく行っている。	2.9	3.2	2.9	
指導や進捗	20	社会の変化に対応し未来を展望した教育活動を実現するために、固定観念にとらわれない学校づくりに挑戦している。	2.8	3.2	3.0	
※アンケートの各項目の文章は、保護者対象のものを掲載しました。			合計平均	3.0	3.3	3.0